

# みどりの風

CONTENTS

- 新年のご挨拶
- 年男・年女
- 病院機能評価
- 第47回『日本看護学会 慢性期看護・学術集会』

新入職員オリエンテーション／新入職員紹介  
職場体験学習／忘年会／クラブ紹介  
ご意見箱の回答／みなみかぜ便り

大根やぐらのライトアップ(2016年12月17日・錦江町宿利原地区)

## 病院理念

地域住民の健康管理のために  
地域医療の質と医療人の質の  
たゆまぬ向上を目指す。

## 基本方針

- 一、医療・保健・介護・福祉・行政機関相互の連携を図り、地域住民に信頼される病院を目指します。
- 一、職員一人ひとりが経営意識を持って、安心・安全な医療を提供し、経営改善に努めます。
- 一、医療人としての責任と使命を自覚し、常に自己啓発に努めます。
- 一、多職種協働による、チーム医療と組織横断的活動を推進します。

## 患者さまの権利

1. 患者さまは、一人の人間として尊重され、平等に安全で適切な医療を受ける権利があります。
2. 患者さまは、十分な説明と情報提供を受けたいうえで、治療方法などをご自身の意思で選択する権利があります。
3. 患者さまは、個人情報の秘密が守られ、プライバシーが保護される権利があります。
4. 患者さまは、ご自身の診療記録の開示を求める権利があります。

## 患者さまの責務

1. 患者さまは、ご自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療提供者へ伝える責務があります。
2. 患者さまは、医療関係者と合意した検査や治療方針に対し、意欲を持って取り組む責務があります。
3. 患者さまは、他の患者さまが快適な環境で医療を受けられるよう、病院や社会生活上のルールやマナーを守る責務があります。
4. 患者さまは、検査や治療のために必要な医療費を負担する責務があります。

# 新年のご挨拶



管理者・管理担当副院長  
西田 卓爾



## 一歩引き下がる覚悟は、 飛躍するための助走。

明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成27年4月より濱畑和人先生に院長を引き受けていただき、私、西田は管理担当副院長として勤務させていただいています。病院内の決定事項など細かいことは診療担当副院長と協力し、濱畑先生に負担がかからないように心がけています。常勤の院内院長が望まれるところですが、医師の確保は全国的な問題でもあり困難を極めています。

平成28年は診療報酬改定が予定通り行われました。全体的に-0.84%とマイナス改定となり、国は財政健全化に向けて医療費の抑制を進めてきました。入院医療と調剤薬局に対する改革が加速されるようです。当院も例外なく事業収入の確保に苦慮しており、さらに数年来入院患者数の減少で、早急に経営状態の改善計画を立てているところです。

また、隣接の老健施設「みなみかぜ」の施設長である、落司孝一先生が11月27日にご逝去されました。先生におかれましては闘病のさなか常勤医師として業務に従事されて、お亡くなりにな

る1週間前まで勤務されておりました。心からご冥福をお祈り申し上げ、今までの長年の地域への貢献を感謝したいと思います。

どうしても暗い話になりがちですが、重点推進事業として挙げた活動の一つを報告したいと思います。病院・医療の質と安全の向上をめざし、改善活動に取り組んできました。最終目標は第三者機関の日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の認定であり、11月に訪問審査を終えました。目標に向かい職員が一丸となって取り組み、時々ぶつかり合ったりもしましたが、終えたときの一体感は素晴らしいものがありました。いろいろな面でレベルアップが図れましたので、これを維持できるように進めていきます。

当院の地域における意義などを考え、経営状態を改善させるために何が必要で、何が必要でないかを考えなおさないといけない時期に来ています。そのために、一歩引き下がる覚悟が必要です。それは引き下がると考えるのではなく、飛躍するための助走と考えて進んでいきたいと思っています。

今年も安心、安全な医療を提供するように職員一同全力で取り組みたいと思います。

今年は  
酉年!

# 年男・年女



12年に1度! 酉年の職員にインタビューしました!

## 透析室 久保 桂子

あけましておめでとうございます。

入職時の年齢より、働いた年数の方が長くなり…入職時は素直でかわいかったはずなのに… いつの間にこうなったのか、誰にでも何でも言える自分に驚いています。膝が痛くなったり、心が痛くなったり、いろいろな事が日々ありますが「私は絶対運がいい」「なるようになる」と信じ、平穏だけではない毎日を楽しむようにしています。

多くの方の助けを頂きここまで頑張ってきたと、本当に感謝しております。皆様に迷惑がかからないように気を付けながら、元気一杯頑張りたいと思います。

## 救急外来 田尾 ナルミ

新年あけましておめでとうございます。

今年は年女ということで一言を依頼され、さて何を書くか…。

皆さんとは逆の生活、夜勤専従(夜行性生活)も4年目に突入しました。現在、救急外来で色々な患者様に対応しないといけないので、毎回ドキドキしながらやっています。患者様がいないときは、色々な部署へリリーフに出発しながら頑張っています。

今年は「酉年」。よくしゃべり、落ち着きのないところはトリだな~と思う。歳を重ねて、少しは成長しているのか自分に問いながらの日々。ニワトリは羽があっても飛べません。ジレンマを抱えながら1年はあつという間に過ぎていく。年々1年が短くなっているような気がする。今年の1年はどんな1年になるのか…。

今の自分に満足できることは何もなく、時間に追われる日々だったが、手のかかる一人息子が遠方へ旅立つので、ちょっと自分の時間が増える(旦那も手がかかる)だろうから、何か趣味のひとつでも再開してみようと思う(昔はいろいろやっていた)。気力・体力ともに衰えていく中、今年の終わりに「いい年だった」と思えるように、1mでも2mでも飛べるように時間を有効利用してみたいと思う。「なせば成る、なさねば成らぬ何事も」の精神で。

## 3F病棟 原口 綾美

新年明けましておめでとうございます。看護師として入職してもうすぐ3年が経とうとしています。私の今年の抱負は、今年こそダイエットを成功させることです。プールもジムもなかなか続けられない…。3日坊主を直して継続できるよう仕事もダイエットも遊びも頑張っていきたいので、今年もよろしくお祈りします!!

## リハビリ室 野村 福美

新年あけましておめでとうございます。タイトルの通り、今年36歳になる年女です。平成26年1月に入職し、あつという間に2年が経ちました。覚えの悪い自分が新しい職場に慣れるのか不安でいっぱい、毎日が緊張の日々でしたが、リハビリ室スタッフをはじめ、多くの皆様に助言をいただきながら少しずつ馴染んできた気がします。これからも知識や経験を蓄え、皆様に貢献できるよう頑張りたいと思います。

今年の抱負として「きびきび動くこと」「時間に余裕を持つこと」「冷え症改善」。仕事でも私生活でも充実した一年にしたいです。

## 老健みなみかぜ 松山 聡史

新年あけましておめでとうございます。医師会立病院に勤めておそらく13年か14年がたちました。当初はリハ助手として勤務しておりましたが、日々の業務の中でもっと患者様に寄り添える仕事につきたいと生意気にも考える様になり、当時の勤めていたリハ技師から「お前はリハ技師になれ!俺が教えるから〇〇にこい」との誘いもあったのですが…地元が好きすぎて離れることができず、丁重にお断りさせていただきました。

そんな感じの事を悩んでる時期に、ちょうど「介護福祉士をとってみらんか?」と言われ、興味のあった介護の世界へと足を踏み入れることとなり、今ではりっぱに介護福祉士として日々の業務に取り組んでおります。まだまだ、自分の理想とする介護福祉士にはなれていませんが、酉年らしく何事にも全力で羽ばたいていきたいと思っています。

## 老健みなみかぜ 黒瀬 博美

あけましておめでとうございます。強力な磁石に引張られたのか、同じ県内に居ても知らなかったこの地に来て、4回目の酉年を迎える事となりました。結婚・出産・子育て、その間も仕事を続けて来られたのは、一緒に働いてきた周りの皆様にたくさん助けられたおかげです。最近、だいぶ年も感じるようになりました。BESTで仕事に臨めるように、心に余裕を持ち、家族みんなが健康で過ごせる一年になる様に心掛けていきたいと思っています。

# 病院機能評価審査

11月17日(木)・18日(金)の2日間で病院機能評価審査を受けました。

病院機能評価とは、病院が組織的に医療を提供できる機能を有しているのかを第三者の目で評価することであり、公益社団法人「日本医療機能評価機構」が行う事業の一つです。日本医療機能評価機構に所属する評価調査者(サーベイヤー)が、中立で公正な立場のもと、当該病院が所定項目を満たしているかを判断します。その上で病院内の課題を明らかにし、改善に向けて行動するように病院に指導します。

このような審査を経て評価調査者が一定の水準を満たしていると判定した病院は、「認定病院」と認められます。2015年の時点で約28%の病院が「認定病院」となっています。

当院では診療・看護・事務領域の3名のサーベイヤーの方が審査をされました。

今回の審査ではケアプロセス(外来から入院～退院まで)重視の審査となり、当院でも2年前から準備をすすめてきました。初日は緊張感のある中進行していき、サーベイヤーからの指摘にうま

## 【審査1日目】

病院概要説明～  
1、4 領域面接調査～  
ケアプロセス調査～  
事務領域面接調査



## 【審査2日目】

チーム別部署訪問～  
講評および意見交換

く対応できなかったところもあったようですが、準備してきたことを精一杯アピールしました。

2日目最後の講評時には領域ごとにおおむね良い評価を頂くところもあり、最後にサーベイヤーの方から「温泉もあり、景色もきれい、開間岳も見たいので(当日曇りで見れなかった)また5年後更新される時はぜひ私たちに指名してください(笑)」と仰っていただき、和やかな雰囲気ですべて無事終了することができました。

後日最終報告が機構より通知されますが、春号にてお知らせしたいと思います。

# 看護研究・全国学会で2題発表

発表者の感想



第47回日本看護学会 慢性期看護・学術集会在平成28年11月10(木)・11日(金)、鳥取県米子市で開催され以下の演題を発表しました。

演題1

「充実した認知症ケアへの取り組み」

発表者 家長 友子

演題2

「透析患者の服薬アドヒアランス調査」

発表者 今村 紀子

中央材料・手術科 家長 友子

慢性期看護にかかわる数多くの演題発表があり、全国から多数の方が発表され鹿児島県からは当院と星塚敬愛園の2施設からの発表でした。今回発表できる機会があり、質問も頂けたのでいい経験となりました。会場全体は大きな所でしたがセクション的には広すぎず発表する者にとってはさほど緊張する広さでなく良かったと思います。

人工透析室 今村 紀子

透析学会の参加は数回あり、発表も経験していますが、看護学会は初めてでとても緊張しながらの参加でした。総参加人数1,900人、慢性期で課題になっている「認知症看護」「退院支援」「ターミナル」などの発表が多数ある中、透析施設の発表も数件ありました。透析はやはり特殊であり、質問等がなかったことが少し残念でした。

全国学会にふれ、いろいろなことを感じ取ってきたと思います。よりよい看護をめざすためにも看護研究を続けていくことは必要です。これからもみんなで研究を深めていきましょう。

鳥取・米子市会場の発表、本当にごくろうさまでした。



# 職場体験学習

●南大隅町立根占中学校

9月29日(木)南大隅町立根占中学校の生徒さん1名が当院へ職場体験学習へ来られ、感想文を頂きましたので紹介いたします。



真剣なまなざしで体験していただきました



拝啓

時下、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。先日の職場体験学習ではお忙しいところ親切丁寧に温かくご指導頂き、誠にありがとうございました。

今回、学校の勉強では決して学ぶことのできない実際の病院での大変貴重な経験をさせて頂きました。職場体験中は私に至らない点が多く、何かとご迷惑をおかけしたのではないかと思います。将来は看護師にあこがれているので、今回この職場を選びました。病院、薬、患者との接し方について体験を通して様々なことを学んだり、考えたりすることができました。緊張していましたが、たくさんの方から温かい言葉をもらい充実した時間を過ごすことができました。将来看護師になるために勉強を頑張ろうと思います。本当にお世話になりました。末筆ながら病院の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

南大隅町立根占中学校3年 打越 のぼら



肝属郡医師会  
南隅地区医師会施設

# 合同忘年会



12月9日(金)、「肝属郡医師会・南隅地区医師会施設合同忘年会」が鹿屋市内のホテルで行われました。先日、前病院長・老健みなみかぜ施設長である落司孝一先生がご逝去され、はじめに黙とうを行い、池田誠会長のごあいさつから忘年会がスタートしました。

今年は各部署の催し物を中止し、故人を偲びながらの忘年会となりましたが、来賓の方々、職員合わせ260名程の出席があり、日頃の疲れを忘れ、とても良い忘年会となりました。

最後に、イベント委員をはじめ準備に携わった方々お疲れ様でした。



池田誠会長のごあいさつ

# 陶芸 クラブだより

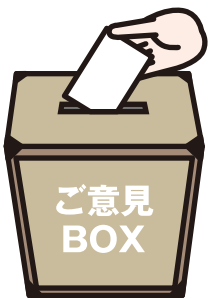
## 『もうすぐ10年』

陶芸クラブも地道に活動を続け、気が付けば、17年の6月で10年目を迎えることとなりました。最初の1年間は錦江町教育委員会の協力をいただき、外部より講師を招いて陶芸のいろはを教えてくださいました。以降は素人集団ながら、職員同士で試行錯誤を重ねながら成長してきたと思います。

陶芸の工程は粘土で作品を形成後、乾燥させて700℃で素焼き、絵や思い思いの釉薬(うわぐすり)を施し、1230℃で本焼きをして、世界に一つだけの作品の完成となります。粘土も個人で必要な量を購入し、器や皿等納得ゆくだけ作ることができます。出来上がった作品は、病院当直室前のショーケースで一定期間展示、また、ドック室にてコーヒーカップや湯飲みとして使用しています。今後も毎月活動を継続してゆきますので陶芸に興味のある方は、ぜひご参加ください。



病院入口に展示していますので、ご覧ください。



## みなさまからの ご意見・ご質問にお答えいたします！

当院では、病院サービス向上の一環として院内6ヶ所(外来、病棟)に「ご意見箱」を設置しており、皆様からのご意見・ご質問などを随時受け付けております。ここでは、寄せられたご意見に対する回答を紹介させていただきます。今後も皆様のお声に耳を傾け、信頼される病院を目指します。



### ご意見

- 血圧測定器の設置場所が前の所の方がいいです。他の方に見られているみたいで何か気にかかります。外来の他の患者さん方も大勢の意見が出ていました。
- (血圧測定器が)車いすの人が使いづらいです。中央処置で「血圧を計って下さい!!」と言われる。(計ってきてください!!)職員の方で違うのかもしれませんが、改良か改善をお願いします。

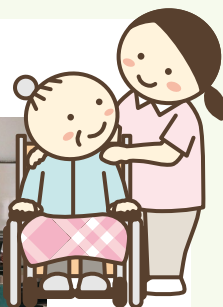
(外来待合室 ご意見箱から 原文まま)

ご指摘を受け、血圧計を従来の位置に戻しました。

尚、車いすを利用されている方の血圧測定は⑧番「中央処置室」又は「各診療科」で測定させて頂くこととし、外来・受付職員で情報共有致しました。また、その旨を血圧測定器前に大きめに掲示しました。

今後もより良い医療サービスを提供させて頂くため、工夫・改善を重ねて参ります。

ご指摘ありがとうございました。



## 地域住民向け『介護講話』

10月14日(金)に田代地区、20日(木)に大根占地区において錦江町より65歳の方を対象とした介護保険の説明会の中で、「介護」と題して当施設での介護の仕事内容や福祉用具等の紹介について講話をさせて頂きました。

ちなみに介護の定義としては、「高齢者や心身の障害者など日常生活を営む上で困難な状態にある個人を対象に、専門的な対人援助を基盤に身体的・精神的・社会的に健康な生活の確保と成長、発達を目指し、利用者が満足できる生活の自立をはかること」とされています。

当施設でも、日々利用者様へ安心・安全への配慮や気配り、心配りを行い、如何にこの施設で快適な生活が送れ、いずれば住み慣れた地域で暮らしていただく為に何が出来のかを模索し、お手伝いさせて頂いております。年に3回勉強会も開催しております。介護の事でお悩み等ありましたら気軽に声をかけて頂き、皆で支えあう事が出来たら幸いだと思っております。

## 施設内 研究発表会

10月14日(金)に第18回施設内研究発表会が行なわれました。

今年度は9グループがそれぞれ課題を設け研究期間を設定し一生懸命取り組んできました。利用者様により良いサービスを提供するために、「日常生活を楽しく、質の向上を目指したレクリエーション」、「拘束しない、身体抑制ゼロに向けて」、また、「接遇の大切さ&難しさ」などなど、いずれのグループも「質の高いサービス」を目標に、その結果や対策を発表しました。

発表後は意見交換を行い、これからの業務を見直す良い機会となりました。今後も更により良いサービスの提供を行っていききたいと思います。



## みなみかぜ大運動会

今年で18回目となる「みなみかぜ大運動会」を11月1日(火)に開催いたしました!



入所、通所の利用者様と職員が赤白半数ずつに分かれ、参加して下さったご家族の皆様とともにスポーツの秋を堪能しました。利用者様代表に国旗掲揚、選手宣誓をしていただき、青い山脈の歌に合わせて準備体操を行った後、競技がスタートしました。

玉入れ、ボール渡しは利用者様全員参加で、普段見られないすばやい動きが見られ勝負にかける意気込みを感じました。また、毎年参加していただいている根占保育園はマーチングを披露して下さい、かわいい衣装に身を包んだ子ども達に利用者様から笑顔があふれていました。職員による応援合戦ではこの日のために両団長を中心に1ヶ月前から練習に取り組み、本番では見事な踊りを披露し二段と盛り上がりました。最後は職員、ご家族、入所者様選抜の車イス競争で競技を終りました。

利用者様だけでなく多数のご家族の皆様のおかけで運動会を盛り上げることが出来ました。本当にありがとうございます。今後もご家族の皆様にご協力いただきながら皆様にご喜んでいたようなイベントを企画してきたいと思います。

## 訃報

みなみかぜ施設長 落司孝一先生が平成28年11月27日(日)ご逝去されました。ここに先生の生前の御功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

先生におかれましては、肝属郡医師会立病院院長、肝属郡医師会理事などの要職を務められ、昨年1月から当施設の施設長として重責を担っていただきました。

ここに謹んで先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



# 外来受診に関するお知らせ

## 完全紹介予約制

当院の外来は「完全紹介予約制」となっております。初診の方は、他の医療機関(かかりつけ医)などからの紹介状が必要となります。また受診の際は、事前に予約をお取りください。

※泌尿器科、整形外科、眼科は「かかりつけ医」がない場合は予約のみで受診できます。

## 予約に関する電話受付時間

月～金曜日 午後2時～ 5時

土曜日 午前9時～12時

## 生活習慣病予防&改善相談

- 受付:** 地域医療室(売店となり)にて  
**内容:** 血圧測定・体脂肪率測定・血液検査(希望者)(食事を摂られてもかまいません)管理栄養士、保健師による病気予防と改善のためのアドバイス  
**費用:** 無料ですが、血液検査を希望の方は血糖・150円、脂質(コレステロール、中性脂肪)・300円をご負担いただきます。  
**対象者:** どなたでもお気軽にお越しください。

**高脂血症・糖尿病**  
**2/18(土) 3/18(土) 4/15(土)**  
いずれの日も**10時**より

栄養士、保健師による病気予防と改善のためのアドバイス

## 個人フォローアップ健診

生活習慣病の予防には生活改善のバロメーターとして定期的な健診が大切です

- 期間:** 申込日より6ヶ月  
**頻度:** 1ヶ月、2ヶ月毎に実施  
**項目:** 糖尿病、高脂血症  
**内容:** 血液検査や体脂肪率測定、結果説明、健康アドバイス等  
**費用:** 糖尿病900円/回 高脂血症500円/回

受診対象：一般、地域住民の皆様  
受診受付：当院 地域医療室  
担当：保健師まで **TEL.0994-22-3111**

## 病院稼働状況

	11月	4~11月	月平均
外来患者延数	2,081	17,614	2,202
(1日平均)	69.4	72.2	—
新入院患者数	79	575	72
退院患者数	89	598	75
月末在院患者数	156	1,264	158
在院患者延数	4,705	38,806	4,851
(1日平均)	156.8	1590.4	—
平均在院日数(一般病棟)	18	18	—

## 編集後記

今年の干支は「丁酉(ひのと・とり)」。酉の由来は「果実が極限まで熟した」といいます。そこから酉のつく年は商売繁盛に繋がると言われているそうです。

商売は勿論、スポーツや習い事、学問に励んでいる人なども大きな成果が得られるといいですね。また、一区切りつく上に運氣を取り込めることから人生を考えるのに相応しいとも言われているようです。私のように「明日があるさ、後回し、後回し」と面倒がっていたら年月は流れていきます。「歳月は人を待たず」ということわざもあります。明日頼みのライフスタイルから、いい加減卒業せねば…(自戒をこめて)

この一年が皆様にとって実り多い年でありますように。

## 職員募集

- 常勤医師【募集診療科】**  
内科(一般、呼吸器、循環器、消化器、リハビリ)・外科・整形外科・眼科
- 看護補助者(パート可)・施設管理・薬剤師・調理補助(契約)**  
**臨床工学技士**

詳細については総務課 庶務係までご連絡ください **TEL.0994-22-3111(内線 1134)**

## シンボルマークについて



地域住民の皆様と地域の医療従事者を、平和と安寧の象徴である二羽の鳩で表し、共に協力しながら空高く飛翔するさまをデザイン。

肝属郡医師会立病院の頭文字をエンドレスイメージでデザインしたKマークは、地域医療の中核病院として地域医療を支え健やかで暮らしやすい地域づくりを目指して永遠に伸びゆくさまを表しています。